

# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 87 健診結果の放置は危険

朝夕の過ぎしやすさとともに、秋の気配が感じられるようになりまし。今回は秋事業についてお話しします。

■「居眠り」をテーマにOCHISセミナー

OCHISの秋イベントと言え、やはり「OCHISセミナー」です。毎年、近畿運輸局、全ト協、大ト協などの協賛や来賓出席をいただき、今年も10月18日(木)に第7回を迎えることとなりました。今年のテーマは、「どうしていますか? 居眠り運転対策」とし、関越自動車道路での高速バスの居眠り運転を教訓に、身体面から居眠り防止対策を掘り下げていくことにしました。

■大好評! 健診結果の活用勉強会

さて、今年も全国各地で秋の定期健康診断がスタートします

が、健診は受けた後が最も大切。今、OCHISの新事業として非常に注目されているのが、「健診結果の見方&活かし方」勉強会(無料)です。この勉強会は、「定期健康診断は受診するだけで精いっぱい」「健診結果が戻ってきてても、どのように扱ったらよいか分からない」という管理者の方に、健診結果の基本的な見方と、社内での効果的な活かし方を説明します。

■レッドカードは5%

「安全配慮義務」という言葉をご存じでしょうか。労働安全衛生法に基づき事業主に課せられているこの義務は、まず定期健康診断実施後の結果チェックからスタートします。具体的に

は、再検査・精密検査が必要な

人を速やかに受診させる受診勧奨や、現状の業務に耐えうる健康状態かどうかの検討、さらにこれらを受けて、残業の制限、配置転換措置などを行うことをいいます。

健診結果は身体状況やリスクを顕著に表わしています。当法人では、よりリスクの高い人に「レッドカード」を出していますが、例えば死の四重奏といわれる「肥満・高血圧、糖尿病、脂質異常」を併せ持つ人は、約5%存在します。そしてその60%の人は重症のSAS者でもあります。健診結果の放置は、いつ健康起因事故が起こってもおかしくない、このような人を放置することになります。

ちなみに、「健診結果の見方&活かし方」勉強会ではこのポイントもお話しします。(第2回は好評につき締め切りしました)

\*東京オフィスに管理栄養士を配置しました。

\*OCHISのHPへのアクセス件数は、昨年の2倍と急増。また、スタッフブログも始めました。

(次回は10月8日号に掲載)



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会  
SAS検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク  
(OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>